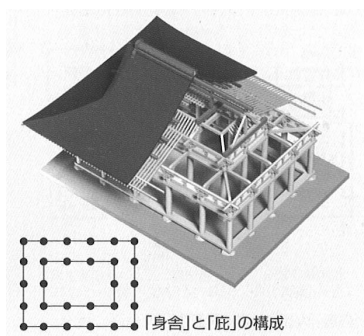
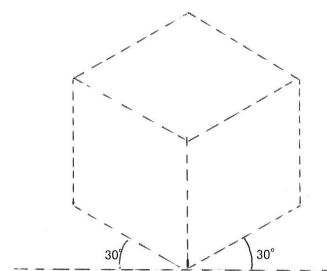
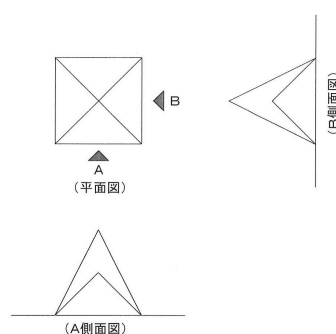


Aそれぞれ、別紙（A3横使い）の左半分に回答すること。図示でもよい。

- ① 伊勢神宮の式年造替とは何か（4）
- ② 日本古来の神社建築は、大陸からの仏教建築の渡来でどう変わっていったか。（4）
- ③ 「芯々制」と「^{うちのり}内法制」を、都市計画と住宅についてそれぞれのべよ。（4）
- ④ 浄土教の建築では、^{もや}身舎のまわりの^{ひさし}庇の部分^をを右回りにめぐりながら弥陀の称号を唱える常行が執り行われた。下図のお堂は、（ ）間（ ）^{いげん}面堂^{めん}である。（2+2）
- ⑤ 「大仏様」の特色をのべよ。（4）
- ⑥ ^{はねぎ}桔木とは何か。（4）
- ⑦ ^{ながれ}流造と春日造を、図示せよ。（4）
- ⑧ 「追い回し」と「敷詰」を説明せよ。（4）
- ⑨ 「^{きわり}木割」とは何か。（4）
- ⑩ 労働力の貸し借りにより、農作業や住宅の維持管理を協働で行う制度が「 」である。（4）
- ⑪ 西山卯三らによる住まい方の研究結果「 分離」と、家族の数に応じた「隔離 」（2+2）
- ⑫ これは、（ ）の形が同じで（ ）が違う（ ）つの（ ）を（ ）にしたものである。点線部分に作図もすること。（4×5）



④



⑫ (10)

B以下の文章を読んでイメージする情景を、別紙（A3横使い）の右半分に描きなさい。一枚の絵、四コマ漫画・・・手法は問わない。（26 内訳：音4・匂い4・独創性4・時間4・がんばり10）

バスは砂漠を走り続け、ムザブの里ガルダイアに着いたのは朝の5時。あたりに人家の灯かりは無い。月こそでいていないものの、目が慣れてくると満天の星でけっこう明るい。そこはどうやら町の広場。道路から一段上がった石畳に仰向けに寝転がる。生き物のようなかたちのミナレットの「ひとつ目」には淡い緑の光。日干し煉瓦でできた矩形の家々は、目を凝らすと淡いパステルカラーだ。

・・・徐々に明るくなり始めた砂漠のオアシス「ガルダイア」。

「ひとつ目」からは夜明けの「アッザーン」が聞こえ始めた・・・